

内航船舶輸送統計速報 (令和元年(2019年)11月分)

1. 概況

総輸送量は、29,405千トン(対前年同月比4.0%減)、15,187百万トンキロ(対前年同月比3.2%減)であり、大型鋼船は18,387千トン(対前年同月比2.2%減)、10,834百万トンキロ(対前年同月比2.0%減)、小型鋼船は9,129千トン(対前年同月比9.7%減)、4,041百万トンキロ(対前年同月比7.3%減)であった。

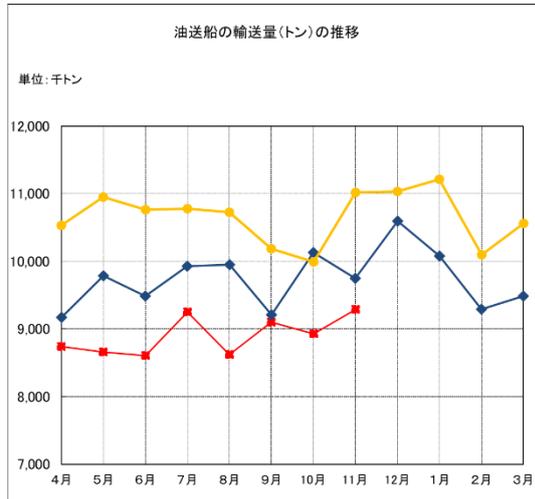
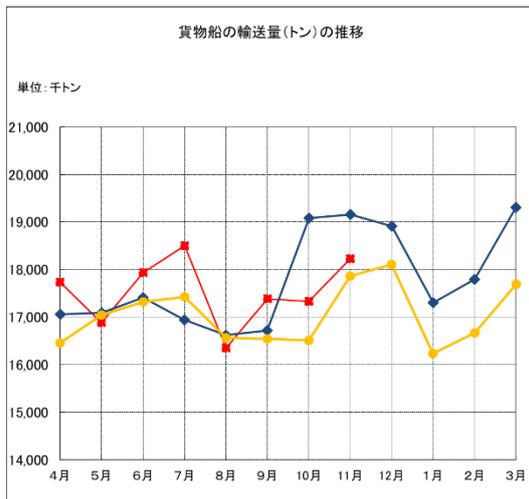
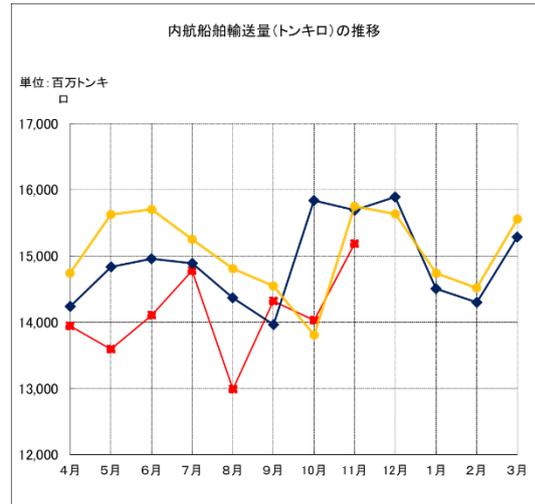
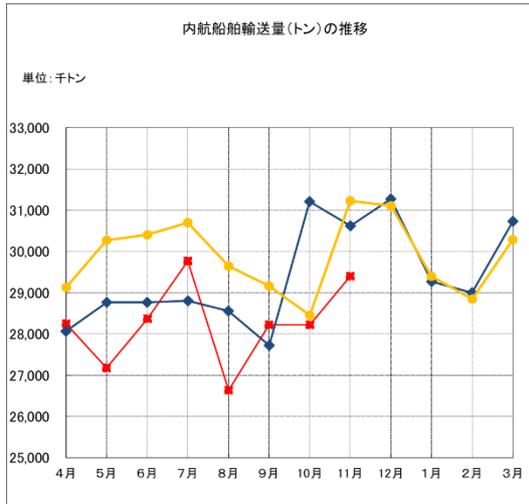
貨物船は18,229千トン(対前年同月比4.8%減)、9,626百万トンキロ(対前年同月比3.3%減)であった。

油送船は9,287千トン(対前年同月比4.8%減)、5,249百万トンキロ(対前年同月比3.8%減)であった。

プッシュャーバージ・台船は1,889千トン(対前年同月比10.3%増)、312百万トンキロ(対前年同月比9.5%増)であった。

2. 用途別輸送実績

項目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合計	29,405	96.0	15,186,664	96.8
大型鋼船	18,387	97.8	10,834,016	98.0
小型鋼船	9,129	90.3	4,040,709	92.7
プッシュャーバージ・台船	1,889	110.3	311,939	109.5
貨物船	18,229	95.2	9,625,525	96.7
油送船	9,287	95.2	5,249,200	96.2
プッシュャーバージ・台船	1,889	110.3	311,939	109.5



凡例：● 平成29年度（2017年度） ◆ 平成30年度（2018年度） ■ 令和元年度（2019年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111 FAX:03-5253-1567

担当：小林（内線 28-742）、西岡（内線 28-743）